

2013 年度施設新設・改修に伴う AV 機器の整備

1. 概要

教室は 5 号館 1 階の 3 つの大教室と、4 号館別棟 1、3 階の 3 つの中教室の改修を行った。また、5506 教室(音楽教室)は文学部教育学科の依頼を受けて、環境工事を機に AV 機器を設置した。

教室以外ではチャペル会館の竣工時の機材の新設および礼拝堂の音響設備の改修を行った。

4 月 14 日にオープンしたメジャー・ラーニング・コモンズには、インタラクティブディスプレイやプロジェクターを設置した。

2. 改修

(1). 教室

① 5 号館 BC 棟 1 階 3 教室 (5121、5122、5123 教室)

ボタン式からタッチパネル式操作卓に改修した。これまでのタッチパネルは、卓上に台を作って埋めこんだが、卓上のスペースが狭くなるうえ、前方に着席した学生からはスクリーンや黒板の視野に被るといった難点があった。今回、タッチパネルをスタンド型ディスプレイにすることで、卓周りがすっきりした。また鍵はカード認証式とし、外部入出力パネルや環境スイッチとともに卓に埋め込んだ。

スクリーンは 5121 教室では以前のを流用したが、他は後方の席でもよく見られるよう、新たに最大設置可能なスクリーン (160 インチ) 2 面とした。

更に、各教室に教員撮影用のカメラを教室後方に設置し、映像配信装置により HD 画像を 8 号館教材準備室で収録することが可能となった。



図 1 5121 教室



図 3 5122 教室



図 5 5123 教室



図 2 5121 教室操作卓



図 4 5122、5123 教室操作卓



図 6 カード認証



図 7 教室内カメラ

② 4号館別棟 1、3階 3教室（4151、4152、4353 教室）

カード認証型 AV ラックに改修。



図 8 カード認証型 AV ラック



図 9 4151 教室

③ 本館 1階 1教室（1104 教室）

チャペル事務室の仮事務所として使用されていた 1104 教室は、演習室として AV ラックの利用を開始した。AV ラックは前年度本館の他教室とともに準備していたので、改修後再設置した。



図 10 1104 教室

④ 5号館音楽教室（5506 教室、5324 教室）

5506 教室は文学部教育学科の教職課程でピアノの実習室として利用されている。これまで AV 機器はなかったが、今回施設課が床や空調の環境整備を行うのに合わせて、プロジェクター他を新規 AV ワゴンとともに導入した。

また、5324 教室はスピーカーが故障していたが、こちらは全カリ予算で新品が購入され、以後、メディアセンターで管理することとなった。



図 11 5506 教室



図 12 5324 教室

(2). 教室

① 礼拝堂

マイク、スピーカーおよびその他音響設備を一新した。礼拝堂という特殊な建築物であるため、露出するスピーカー等については礼拝堂内の雰囲気壊さないものであるようにという強い要望が出され、それに見合う機器を選出した。

また、チャペル関係者が操作しやすいように、タッチパネルを導入した。



図 13 チャペルスピーカー



図 14 チャペル控室内音響機器



図 15 タッチパネル

② チャペル会館

1階会議室には50インチ型ディスプレイラックとポータブルマイクアンプ1式が、2階多目的室はマイク、スピーカー他音響一式が設置された。また、1階事務室には礼拝堂の音が聞こえるようスピーカーを設けた。



図 16 多目的室

図 17 スピーカー



図 18 多目的室内音響機器

③ メーザー・ラーニング・commons

メーザー・ラーニング・commonsの項に詳述。

④ 8号館

3～5階の13室のPC教室の出入り口各カ所に、サイネージディスプレイを設置した。これにすでに運用されている教務の授業利用情報を表示することとなった。また、メディアセンター側で作成したPC教室利用情報も表示することができる。



図19 8号館サイネージ

⑤ ボランティアセンター

狭小スペースに超単焦点プロジェクターとホワイトボードを設置した。



図20 ボランティアセンター打ち合わせ室

⑥ グローバルラウンジ

マキムホール中2階のラーニングスペースが6月よりグローバルラウンジとして使用されるため、80インチ液晶テレビ、4画面合成器他一式を設置した。

⑦ 理学部

4号館学習支援室に60型タッチディスプレイ(BIGPAD)、および無線LAN対応プレゼンテーション機器(wivia)を設置した。

⑧ 17号館会議室

太刀川記念館1階の2会議室は臨時で他部署の占有利用となったため、既設のプロジェクター、スクリーン他、TV会議システムを17号館3階会議室に移動した。

3. 2013年度のまとめ

操作卓教室では最も古かった5号館3教室のAV機器が改修された。授業、イベントともに利用は非常に多いのに、機器の状態が古く、調整が難しかったが、ようやく、利用者に快適な状況を提供することができるようになった。

また、持ち越しになっていた4号館別棟のAVラックも改修することができた。しかし、AVラックに関してはまだ10号館に古いタイプが存在している。今後こちらの改修も必要となる。

今年度も昨年度に続き、教室外の設備の改修が続いた。新規にできたチャペル会館やメーザー・ラーニング・コモンズはもとより、既存の設備へのAV機器の充実が図られた。それだけ、AV機器の需要が高まっているといえよう。

PCの普及とともに、プロジェクターやディスプレイの需要が高まっているため、これまでの想定では機器が消耗してしまう事態も起きた。年々効率の良い機器が開発されているとはいえ、ハードウェアの交換は簡単にはいかないため、維持か交換か見極めが難しくなっている。今後8号館、7号館、14号館と利用率の高い教室での設備の検討が必要となるが、利用者のニーズをくみ取りつつ、機器の保守、改修に努めていきたい。